

事務事業名		被服等貸与事業		<input type="checkbox"/> 実施計画掲載事業		<input type="checkbox"/> 総合戦略掲載事業	
政策体系	政策名	0 5 やすらぎある安全なまちづくりの推進		事業期間		予算科目	
	施策名	1 8 市民生活に身近な安全の確保		区分		会計	款 項 目 事業
	基本事業名	0 1 消防体制の充実		単年度繰返		01	09 01 02 1100
根拠法令		-		※期間欄に開始年度を記入			
所属	部課名	大船渡消防署		【開始年度】		事務事業区分	
	課長名	佐藤 礼		昭和27 年度～		A 政策事業	
	係名	消防団係	電話	0192-27-2119			
	担当者	村上 浩朗	内線	433			
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						全体計画(※期間限定複数年度のみ)	
①消防団員の消防活動を行う上で安全かつ機能的な服装を確保するために、半纏、活動服、ヘルメット、半長靴、編み上げゴム長靴、雨衣、防寒衣等を大船渡市消防団規則に基づく被服更新計画で貸与している。 活動服については、服制基準(安全性及び機能性を兼備えた新ガイドライン)に沿ったものを貸与している。 ②新入団員については全員に貸与し、現団員については、主に活動服を貸与している。						総投入量 (千円) 事業費 財源内訳 国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 0 人件費 正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計(B) 0 トータルコスト(A)+(B) 0	

1 現状把握の部(DO)		
(1) 事務事業の目的と指標		
① 手段(主な活動)	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
前年度実績(前年度に行った主な活動)	名称	単位
・新入団員14名に、全員に半纏一式、活動服、アポロキャップ、半長靴、編み上げゴム長靴を貸与する。 ・現団員分は、更新計画のとおり60名分活動服を貸与する。	ア 新入団員分被服購入数	着
今年度計画(今年度に計画している主な活動)	イ 現団員分被服購入数	着
・新入団員へは、半纏一式、活動服、アポロキャップ、半長靴、編み上げゴム長靴を貸与する。 ・現団員へは活動服及び雨衣等を計画的に貸与する。	ウ	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
・消防団員	名称	単位
	カ 消防団員数(新入団員)	人
	キ 消防団員数(現団員)※上記新入団員は除く	人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
・安全で活動しやすい被服を貸与することで、災害活動時、安全でより効果的な活動ができる。 ・乙種制服(半纏一式)を貸与することで、団員としての自覚を持ち、連帯感が生まれ、モチベーションが向上し、消防団活動の質が向上する。	名称	単位
	サ 新入団員への被服貸与率	%
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)	シ 現団員への被服更新率(単年)	%
・大船渡市消防団員という自覚を持ち災害活動及び各種行事において活動することができる。 ・消防団活動の質が向上することで、市民の信頼を得られる。	ス	

(2) 総事業費・指標等の推移									
		年度	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	5年度(実績)	6年度(目標)	7年度(目標)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	
		都道府県支出金	千円	0	0	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	0	0	
		一般財源	千円	2,565	3,700	1,861	3,518	3,600	3,600
	事業費計(A)		千円	2,565	3,700	1,861	3,518	3,600	3,600
	人件費	正規職員従事人数	人	3	3	3	3	3	3
		延べ業務時間	時間	900	900	900	900	900	900
		人件費計(B)	千円	3,600	3,600	3,600	3,600	3,600	3,600
		トータルコスト(A)+(B)		千円	6,165	7,300	5,461	7,118	7,200
⑤活動指標		ア	着	18	13	19	14	20	
		イ	着	30	150	24	60	24	
		ウ							
⑥対象指標		カ	人	18	13	19	14	20	
		キ	人	818	772	734	635	766	
		ク							
⑦成果指標		サ	%	100	100	100	100	100	
		シ	%	4	19	3	9	4	
		ス							

事務事業ID	1104	事務事業名	被服等貸与事業
--------	------	-------	---------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	・安全で効果的な災害活動の遂行、消防団員としての自覚を持つことなどによる消防団活動の質の向上を目的とし、大船渡市消防団員被服等貸与規程(平成元年7月24日施行)に基づき貸与している。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	・活動服については、服制基準(安全性及び機能性を兼ね備えた新ガイドライン)の変更に対応しながら計画的に貸与している。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	・劣化や服制基準の変更に伴い、被服の更新を計画的に行って欲しい。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ▽ 理由・内容 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつかか？意図することが結果に結びついているか？ ・被服を貸与することは消防団組織の統制を図り、消防団員の意識を高揚し、消防力の充実に結びつき、安心・安全なまちづくりの推進が図られる。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ▽ 理由・内容 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ ・この事業の対象である消防団は、非常勤の地方公務員である。また、消防団は、消防組織法第9条により市が設置し運用しているものであり、条例の定める大船渡市消防団員被服等貸与規程に基づくものであることから、市の責任において実施することが妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ▽ 理由・内容 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ ・大船渡市消防団員に対する職務上必要な被服等の貸与事業であることから妥当である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ▽ 理由・内容 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ ・被服貸与規程に基づく更新が、予算不足により困難である。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある ▽ 理由・内容 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ ・初任団員はもとより現団員へは入団時の貸与と計画的な更新が必要であり、災害活動時に安全で効率的な活動が困難となる。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ▽ 理由・内容 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) ・服制基準に沿った被服を契約事務により安価で購入していることから、削減の余地はない。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ▽ 理由・内容 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) 必要人数で遂行していることから、削減の余地はない。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ▽ 理由・内容 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ ・安全で効率的な災害活動の遂行、消防団員としての自覚を持つことなどによる消防団活動の質の向上につながり、市民の信頼を得られることから、公平・公正となっている。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果	(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																		
1 現状維持	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	●	×	低下	×	×	現状どおり継続して事業を実施する
	コスト																			
	削減	維持	増加																	
成果	向上																			
	維持	●	×																	
	低下	×	×																	
※(1)改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入。 (現状維持の場合、コスト及び成果は「維持」) (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																				

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
1 現状維持	令和5年度の新人団員は14名であったが、近年新人団員数が20名前後であるので、現在20名で予算計上している。大船渡市消防団員用被服等購入更新計画に基づき、全団員に対し消防団員服制基準に適合した被服に早期に更新する必要がある。そのことが人件費削減につながる事から補助金等を活用し、計画の前倒しが必要である。